

現在の会員数 一般会員140名 団体会員8団体 協会員4名 (平成29年7月現在)

## 講演会の報告 (第28回会員集会)

日時:平成29年11月25日(土) 13時30分~17時

場所:日本水道会館7階会議室

講演①「水利用」研究推進事業(CREST)の成果は  
水道界に貢献しているか?

—水道界は科学技術に貢献しているか?—

(講師:大垣眞一郎氏(公財)水道技術研究センター理事長)

講演②水利用システムにおける膜濾過技術への期待

—膜ろ過浄水技術の展開—

(講師:渡辺義公氏 中央大学研究開発機構教授)

講演①では、文科省CRESTの成果が水道界にどう貢献しているかについて、水道事業者が利用できる循環モデル、地域にスケールダウンした需要予測等の例を挙げ、17研究チームの主な研究成果を紹介されました。また、「都市工学を学ぶ人ならば哲学や人間学を学んで欲しい」、「5、60年前の過去の状況が今のように変化してきている、水道界は混沌のなかにあり変化は早い、何事にもとらわれない思考が必要」と水道界にとって示唆に富むお言葉をいただきました。



大垣眞一郎先生

講演②では、膜ろ過・浄水技術について、MAC21から25年、1999年に0.1%であった膜の普及率は、2015年に2.4%となり、順調にゆっく



渡辺義公先生

り膜の時代がきている。日本のエンジニアリング会社が基礎研究を通じてどういう商品を作り上げたのか、モノリスセラミック膜、浸漬型浄水膜ろ過、ロバスト

膜の3つの商品の特性を説明された後、膜ファウリングの定義とその軽減、抑制について講演いただきました。



会場の様子

## 定例幹事会の報告

日時:平成29年11月25日(土) 11時~12時

場所:日本水道会館7階会議室

議題:会員集会、リレーエッセイ、次回集会準備他

## リレーエッセイ「水声」のご紹介

水を語る会のホームページでは、水への想いを綴ったリレーエッセイ「水声」を連載しています。

## 今後の予定(第30回会員集会)

日時:平成30年4月21日(土) 13時30分~

場所:日本水道会館7階会議室

## 編集後記

平成30年7月開催予定の定次総会にて、水を語る会講演録第5号の配布を予定しています。現在、2年分の講演内容を幹事一同手分けして編集作業に取り組んでいます。過去の第1回から第4回までの講演録はホームページ上で公開していますので、是非ご覧ください。今後も、水を語る会の活動に対しご支援、ご協力をお願い申し上げます。(幹事 星野力)

◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。詳しくはホームページをご覧ください。

→ <http://mizuwokatarukai.org/>

以上